

新学術領域研究「実験と観測で解き明かす中性子星の核物質」

キックオフシンポジウム

10月26日（金曜日）

- 11:00-11:30 「新学術領域"中性子星核物質"のめざすもの」
田村裕和 (東北大学)
- 11:30-12:15 「From Quarks to Cosmos」
初田哲男 (理研)
-
- 12:15-13:15 昼食
-
- 13:15-13:45 「中性子星と核物質の理論研究」
(研究計画 D01) 大西明 (京都大学)
- 13:45-14:15 「中性子星物質の状態方程式と冷却現象」
高塚龍之 (岩手大学)
-
- 14:15-14:30 休憩
-
- 14:30-15:00 「冷却原子を用いた中性子過剰な低密度核物質の状態方程式」
(研究計画 B03) 堀越宗一 (東京大学)
- 15:00-15:30 「冷却原子気体で探る中性子星物質—その可能性と課題」
渡辺元太郎 (APCTP)
- 15:30-16:00 「ユニタリー領域近傍におけるフェルミ原子ガスの強結合物性」
大橋洋士 (慶應大学)
-
- 16:00-16:30 休憩 (写真撮影)
-
- 16:30-17:00 「X線観測から中性子星に迫る」
牧島一夫 (東京大学)
- 17:00-17:30 「宇宙X線・ガンマ線観測による中性子星研究の新展開」
(計画研究 C01) 高橋忠幸 (JAXA)
- 17:30-18:30 新学術領域の進め方に関する議論
-
- 18:30-20:30 懇親会

領域代表：田村 裕和

協賛：理研理事長ファンド準備研究

「理論物理とX線観測の連携に基づく超高密度天体の構造解明」

初田哲男、橋本幸士、玉川徹

10月27日 (土曜日)

- 09:00-09:30 「多重ストレンジネスのバリオン間相互作用」
(研究計画 A01) 高橋俊行 (KEK)
- 09:30-10:00 「中性子過剰核物質中のストレンジネス」
(研究計画 A02) 阪口篤志 (大阪大学)
- 10:00-10:30 「ハイパー核生成と中性子星内部のストレンジネス」
原田融 (大阪電通大学)
-
- 10:30-10:45 休憩
-
- 10:45-11:15 「高密度中性子過剰核物質の状態方程式」
(研究計画 B01) 村上哲也 (京都大学)
- 11:15-11:45 「重イオン衝突で探る核物質」
小野章 (東北大学)
- 11:45-12:15 「中性子過剰な中低密度核物質の物性」
(研究計画 B02) 中村隆司 (東京工業大学)
- 12:15-12:30 「中性子過剰核のピグミー共鳴」
稲倉恒法 (千葉大)
-
- 12:30-13:30 昼食 (弁当)
-
- 13:30-14:00 「超新星爆発における核物質と状態方程式」
住吉光介 (沼津高専)
- 14:00-14:30 「超新星爆発にまつわる物理: 状態方程式依存性と重力波放出」
諏訪雄大 (基研)
-
- 14:30-14:45 休憩
-
- 14:45-15:15 「対称エネルギーとパスタ原子核」
飯田圭 (高知大学)
- 15:15-15:45 「核物質の飽和性と状態方程式の微視的理解と3体核力」
河野通郎 (九州歯科大学)
- 15:45-16:15 「殻構造と3体核力」
大塚孝治 (東京大学)

領域代表：田村 裕和

協賛：理研理事長ファンド準備研究

「理論物理とX線観測の連携に基づく超高密度天体の構造解明」

初田哲男、橋本幸士、玉川徹